

# 「日本の京都」研究会について

## 1 設立目的

京都市では、平成15年以降、歴史都市・京都ならではの魅力を守り、育て、発信するという視点から「景観」「文化」「観光」の3つの分野を柱とした「京都創生」の取組を進めています。また、その実現に当たっては、京都市民と京都市が力を合わせて積極的に取組を進めるとともに、国家的見地から取組を進める必要があるものについては、国に制度的・財政的な措置を求めてきました。

平成16年に設置した「日本の京都」研究会は、この取組の一環として、京都を守り、育てることは、京都市民のためだけでなく、日本にとっても重要な意味を持っているとの考えの下、日本の中の京都の役割や活用方策を研究し、その成果を京都市政や国政に活かすことを目的とするものです。

具体的には、東京で開催する研究会で、京都市が現在取り組んでいる施策や、国策として取り組んでいただきたい施策の説明等を行い、国委員から市の施策や提案に対する助言、国の事業の紹介等をしていただいています。また、京都見学会では、京都の実情を直接見ていただくために、施策上の課題のある場所や、京都の文化等の深淵にふれられる場所などを見学いただいています。

## 2 設立年月 平成16年10月

## 3 委員構成

委員数52名（内訳：関係省庁職員 35名、学識経験者 2名、市職員 15名）  
（令和7年4月現在）

## 4 開催頻度（※令和3年度以降の実績）

研究会：東京で1回開催開催（約1時間30分）。

見学会：京都で1回開催（1泊2日。宿泊日の午後から翌日の午前まで）。

## 5 国の委員の役割

京都市の現状や課題を御理解いただくため、研究会や見学会における京都市からの説明をお聞きいただくとともに、所管されている事務等に関連し、専門的な立場から国で考えておられる取組等を紹介いただきながら、大所高所から市の施策に対する助言・提案等をいただいています。

## 6 研究会の成果

京都市では、建築物の高さやデザイン、屋外広告物、眺望景観の保全などを一体的に規制・誘導する新たな景観政策や、文化財に対する防災対策、外国人観光客の誘致など、全国に先駆けた施策を進めています。取組に際しては、研究会における国委員の意見が貴重な助言、提案となっています。

今後、これらの事業が他の歴史都市で活用されるなど、全国的な広がりを持つことにより、国にとっても大きな成果が得られると考えられます。

## 7 過去の研究会・見学会の概要（別紙のとおり）

## 【過去の研究会の概要】

(令和6年度)

講師：松山大耕（妙心寺退蔵院副住職）

テーマ：「世界都市としての京都の可能性 ～思想と哲学」

(令和5年度)

文化市民局：文化首都としての役割を果たすための政策

産業観光局：持続可能な京都観光の実現に向けて

総合企画局、都市計画局：京都市の人口減少対策と都市計画の見直しについて

(令和4年度)

行財政局：京都市の財政状況

文化市民局：京都アート・エコシステム

都市計画局：既存住宅の利活用・流通促進等、若者・子育て世帯の定住促進に向けた取組み

(令和3年度)

総合企画局：歴史都市・京都創生策Ⅱ総括～次なる京都創生に向けて～

行財政局：京都市の財政状況と行財政改革計画（行財政改革の取組）

都市経営戦略監：行財政改革計画（都市の成長戦略）

総合企画局：京都駅東部・東南部エリアの活性化の取組

(令和2年度)

中止

(令和元年度)

行財政局：京都市の財政状況について

産業観光局：京都の観光振興及び伝統産業の振興について

文化市民局：文化芸術によるまちづくりの更なる推進について

都市計画局：持続可能な都市の構築について、京町家の保全・継承の取組

建設局：先斗町通をはじめとした京都市の無電柱化事業等

※ その他報告として、「IPCC京都ガイドライン、1.5℃を目指す京都アピール」について、環境政策局から報告

## 【過去の見学会の概要】

日程	見学先	内容
令和6年度 11月2・3日	京都市役所本庁舎	・オリエンテーション・副市長御挨拶（第三会議室） ・本庁舎内を見学しながら、庁舎建替えに携わった当時の様子をお聞きいただく
	Panasonic Design Kyoto	パナソニック社がデザイン創生の場として京都を選んだ理由やインプットし最終的なデザインへとアウトプットする行程まで考え抜かれたオフィスを見学。
	Garden Lab	楓が印象的な中庭に面した空間で、ウォーリン様が京都で京町屋を活用することになったきっかけや思いをお話しいただく。
	二条城	重要文化財の本丸御殿は、保存修理のため長らく非公開であったが、令和6年9月1日から18年ぶりに一般公開を開始。 保存修理を終え、公開が始まったばかりの本丸御殿を中心に、二条城を視察。
	妙心寺退蔵院	研究会で御講演いただいた松山様が副住職を務められている。 退蔵院のご紹介とともに、京都の価値観の根底にある「禅」を実際に体験していただく。
	京都駅周辺エリア視察	チームラボ建設予定地などサウスベクトルエリアをバス車内から視察
	涉成園	名勝である涉成園をご覧いただきながら、管理を行っている加藤造園から、文化財として、また都市部におけるグリーンインフラとして、庭園の持つ様々な重要性を考慮して取り組まれている育成管理の考え方・実践についてお話を伺う。
	丸福樓＋菊浜エリア視察	任天堂旧本社と安藤忠雄氏設計監修の建築が融合したホテル館内ツアーと周辺のエリア内散策。
令和5年度 11月18・19日	京都駅	観光混雑対策や実証実験の見学・説明
	東寺（教王護国寺）	通常非公開の五重塔（初層）、小子房等の見学・説明
	文化庁庁舎	「東京一極集中是正」、「日本全国の文化の力による地方創生」、「地域の多用な文化の掘り起こしや磨き上げによる文化芸術の振興」といった意義を持って、京都移転した文化庁庁舎をバス車内から案内
	鷹山保存会（ちおん舎）	令和4年（2022年）、196年ぶりに巡行復帰した鷹山の歴史について説明
	SIGHTS KYOTO	コワーキングスペース、バー、観光案内所の機能を兼ねる観光複合施設。観光案内所では京都への移住支援も行っている。施設の見学・説明
	祇園甲部歌舞練場、ギオンコーナー	「都をどり」や「温習会」など祇園甲部の芸妓・舞妓の技芸発表の場であり、平成18年に国の登録有形文化財（建築物）に指定。京都市の歴史的風致形成建造物の一つである祇園甲部歌舞練場の説明及びギオンコーナーの見学
サウスベクトルエリア	サウスベクトルエリアをバスで周遊し、説明	

	THEATRE E9 KYOTO	京都の小劇場が閉館する中、クラウドファンディングにより東九条地域に令和元年6月にオープンした劇場の説明・見学
	南烏丸市営住宅	若者・子育て応援住宅として、市営住宅を民間事業者がリノベーションした上で、子育て世帯向けに貸し出す（所得制限なし）全国初の取組について、説明・見学
	京都市立芸術大学	京都駅東部エリアへ移転し、「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンとなることを目指している同大学を説明・見学
令和4年度 11月11日・12日	Kyoto Makers Garage	京都のスタートアップの事業化支援等を行う拠点の見学と、それを運営する京都発のベンチャーキャピタルから取組についての説明
	Umekoji MaRKEt	モノづくり、アート、食をキーワードに、梅小路京都西駅エリアでクリエイティブタウン化の取組について説明
	仁和寺	仁和寺を守護する寺侍が住んでいたと言われる建物と、蔵だった場所を、主にインバウンド向けに日本の宗教体験・文化の体験の場として改修した「松林庵」と「食堂」の見学・説明
	天才アートKYOTO (障害者芸術アトリエ)	障害のある人の芸術的な才能、作品の芸術的価値を広く社会に発信し、障害者の経済的自立につなげるアトリエの見学・説明
	HAPSスタジオ	若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくりの場であるスタジオの見学・説明
	郭巨山町会所	指定京町家改修補助金（京都市）、京町家まちづくりファンド、建築基準法の適用除外制度（京都市）を利用し、1棟の町家と蔵を改修して1棟の町家としたユニークな建築事例の見学・説明
	ホテル丸福楼・高瀬川、 菊浜エリアのまちづくり	山内財団と京都市が連携して取り組む高瀬川再生プロジェクト、京都発のイノベーションを起こす未来の拠点としてのエコシステム創出に向けた菊浜エリアでの取組の見学・意見交換
	京都芸術センター	京都芸術センターの見学と、文化と経済の融合を通じて、新たな価値創造を促進し、「カルチャープレナー」の創出に向けた取組についての説明
令和元年度 9月28日・29日	特定屋内広告物の事例	本市の広告物規制についての現状説明及び事例の確認
	建仁寺	栄西禅師の墓所である開山堂（通常非公開）及び重要文化財に指定されている方丈などを見学
	花見小路	国土交通省（近畿運輸局）、京都市、京都市観光協会の3者で9月30日から実施する外国人観光客のマナー向上に係る実証実験について説明・見学
	祇園新橋京町家保全継承 地区及びその周辺地域	地区の見学及び地区外における京町家の現状について確認
	パナソニックデザインセンター	情報から価値へ変化させるフロアコンセプト「DRIP」についての説明及び茶筒の構造からヒントを得たコンパクトスピーカー「響筒」などの見学

※新型コロナウイルス感染症の影響を受け令和2年度及び令和3年度の開催を見送り。